

事務事業評価(事前評価)シート【令和元年度】

主管課(担当名)	農林課(農政担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	農畜産業活性化推進事業	事業番号	12769

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-1	農林漁業の担い手対策
	施策目標	豊かな農林漁業を次世代につなぐまち	

2 事務事業の目的

目的	農畜産物に係る根室ブランドの確立や担い手確保について、農業関係者による協議体を設立し、地産地消と販売促進のための将来的なブランド化や、担い手確保への課題と問題点、実現方法を検討し、効果的な施策展開を図る。
成果	担い手確保対策に向けた取り組みや、農畜産物のブランド化の検討、農畜産物に係る工場設立や企業誘致の検討などを行うことにより、根室産農畜産物の活性化が図られる。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
		29						
	30							
	31	農業従事者の確保として、「新・農業人フェア」の参加及び他地域の農業校の学校訪問、根室産生乳を活用した牛乳プラントの視察・研究及び商品開発の検討						
	32	農業従事者の確保として、「新・農業人フェア」の参加及び他地域の農業校の学校訪問、根室産生乳を活用した牛乳プラントの在り方・方向性の整理及び研究及び商品開発の検討						
	33	農業従事者の確保として、「新・農業人フェア」の参加及び他地域の農業校の学校訪問、根室産生乳を活用した牛乳プラントの在り方・方向性の整理及び研究及び商品開発の検討						
事業費と内訳	(単位:千円)	H29	H30	H31	H32	H33	総事業費	
	事業費			1,130	1,230	1,230	3,590	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			1,130	1,230	1,230	3,590
		一般財源						
	人員(人工)			0.3	0.3	0.3	0.90	
職員費(人員×7,693千円)			2,308	2,308	2,308	6,924		
総事業費			3,438	3,538	3,538	10,514		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H30)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	酪農従事者(新規・後継者)の確保		1人	3人
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	酪農従事に係る担い手の確保に取り組むことにより、事業承継や後継者対策など、減少傾向である酪農家の減少に対し地域の担い手のモチベーションの維持が図られ、また、根室産牛乳の生産など、根室産生乳を活用した商品開発を行うことでブランド化が図られ、農畜産物を活用した地域産業の活性化に繋がる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 農業関係者による担い手の確保及び生乳を活用したブランド化を望む声が多い。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 平成31年3月に、市・JAなどの農業関連団体を構成員とした「根室市農畜産物活性化推進協議会」を設立し、同協議会内において施策展開を行う。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 酪農従事者については、事業承継、特に後継者対策が進まず、やむを得ず廃業するケースが進んでいることから、担い手の確保対策は急務である。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 根室市農畜産物活性化推進協議会内において、後継者対策を担当する「担い手確保部会」、及び根室産生乳の活用を検討する「ブランド化部会」をそれぞれ設置し、課題解決に向けて施策展開している。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 担い手確保については、今後、市外からの受入れに際し、各種支援制度を設けるよう検討する方向である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 担い手の確保については、当市に限らず全国的に人手不足であることや、根室産生乳のブランド化については、近隣地域では確立されているが根室のみ地域生乳ブランドが無いことから、施策検討は有効と考える。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 関係機関と連携の上、担い手の確保及び根室産生乳のブランド化に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 担い手の確保及び根室産生乳のブランド化に向けて、根室市農畜産物活性化推進協議会での取り組みをはじめ、関係機関と連携し推進する。

作成年月

令和元年6月